

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名

そだちネットワーク部会 第2回

開催日時

平成30年7月12日(木)

参加者所属機関名等

飯山養護学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・野沢温泉村・栄村・母子通園施設いちご学園・児童養護施設飯山学園・ふっくら工房ふるさと・カラー's・中野・北信教育事務所・事務局(北信圏域総合相談支援センター)

本日のテーマ、課題等

- (1)全体共有 ①飯山養護学校特別支援教育連携協議会について ②発達障がい支援フォーラムの報告
(2)各WG活動と報告

会議で話し合われた事

(1)全体共有

- ①飯山養護学校特別支援教育連携協議会の報告
- ②発達障がい支援フォーラムの報告

(2)各ワーキンググループ活動

①子どもの支援ワーキング

・フォーマット(名簿管理システム)についての趣旨について、5市町村の教育委員会の承諾(栄村はメンバーにいないため後日確認)を得られた。H30年度の就学相談員会で挙げたケースから教育委員会で統一したシステムに打ち込んでみて、今後は、打ち込む内容や項目、管理の方法について検討していく。

②家族に寄り添う支援ワーキング

・目指すところは、「だれもが当たり前のように相談できる環境」。子どもの発達について、苦手さやネガティブなイメージが目立つ前に、相談の成功体験を積んだり、早期の支援をすることが子どもにとってもお得なんだと知ってもらえると良い。一人ひとりの育ちについて相談をしながら子育てをすることが当たり前と思える土壌を作っていくため、気になる子だけでなく全員に配布するためのリーフレットについて検討していく。

③ネットワーク充実ワーキング

・「支援者がチームの作り方を分かる為の支援マップ」を検討する中で、学童期以降の「教育と行政との連携」についてテーマを絞り話し合った。その中でも学校発信のチーム作りの際、つなぎ先が分かりにくい事が挙げられた。各市町村において窓口を一本化し、相談を受けた市町村担当が、行政の関係者につないでいく方法を検討した。次回は、6市町村の窓口マップのたたき台を作成し、具体的に検討していきたい。

④重心・医ケアワーキング

・8月2日(木)に重心・医ケア親の会を開催するため、内容を検討した。

前回ニーズとして多かった入浴をテーマに、①「他圏域の訪問入浴の様子」をビデオを元に情報提供を行う事と、②医療的ケア児の家族と、重症心身障がい児の家族に分かれニーズを聞き取る事となった。前回得られたニーズを具体化していきたい。

今後に向けて

- WG活動ごとに活動内容等を検討し進めていく